

# ほげんだより 10月

名古屋市立西特別支援学校  
保健指導部 10月号  
令和5年10月2日発行

暑さがようやくおさまり、過ごしやすい季節になりました。

秋といえば「読書の秋」「芸術の秋」「スポーツの秋」「食欲の秋」と

いろいろな楽しみ方がありますね。みなさんは、どんなことに取り組む秋を過ごしますか？

また、朝晩と昼間の気温差が大きいのもこの時期の特徴です。

調節しやすい服装を心掛け、体調には十分気をつけましょう。

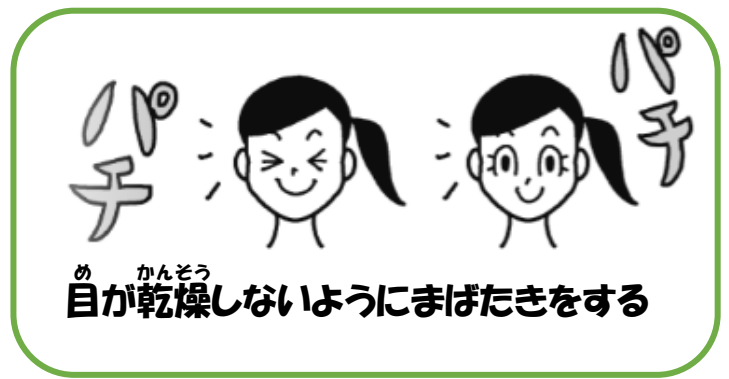
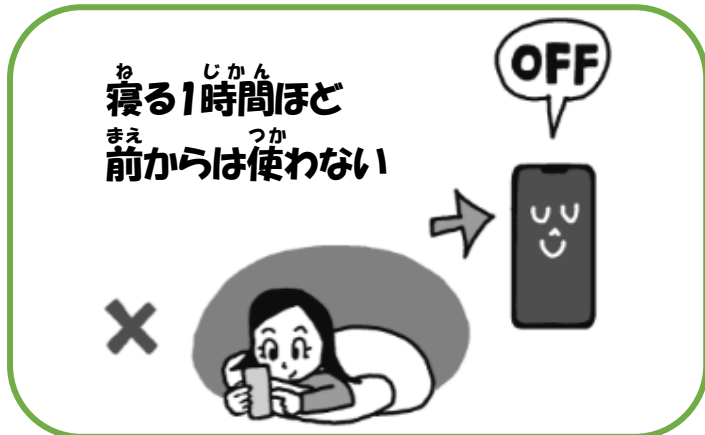
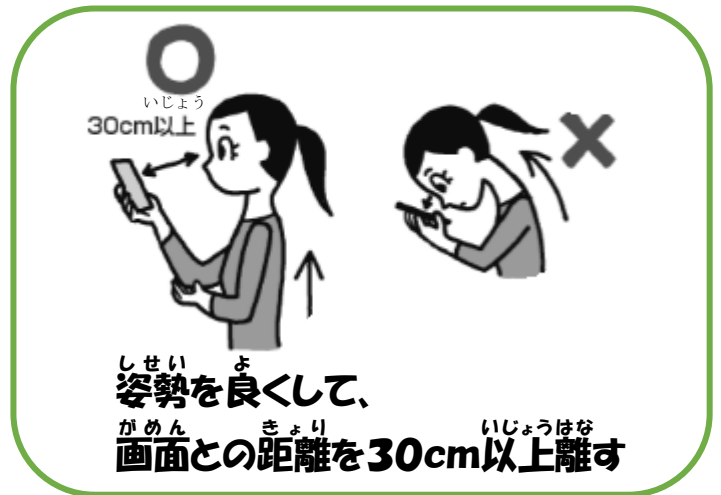
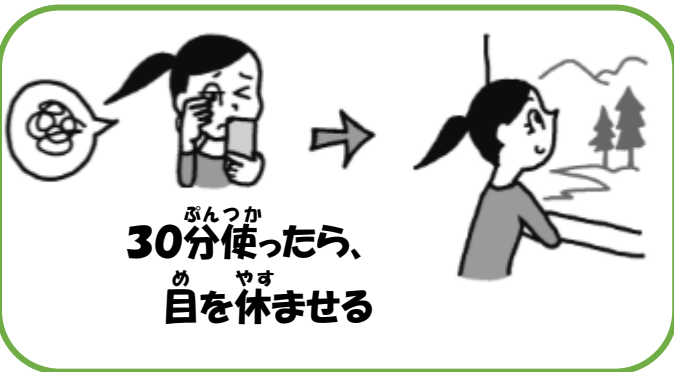


## 今月の保健目標

### 目を大切にしましょう



10月10日は目の愛護デーです。私たちは毎日、目をたくさん使っています。その中でも、スマートフォンやタブレットでインターネットを見たり、ゲームをしたりすると、「毛様体筋」という筋肉が緊張し、目は特に疲れます。大切な目に、負担をかけすぎないように気をつけることを紹介します。



## 令和5年8月31日(木)開催 学校保健委員会 ご報告

先月発行のほけんだよりにて、まとめ次第保護者の皆さまへご報告をさせていただき、お伝えをしておりました「学校保健委員会に関する資料」について、こちらでご紹介をさせていただきます。



### 【質疑応答 (いずみの会→学校・学校医)】

【質問1】 子どもが誤飲・誤食をしてしまった際に、緊急性が高いものとそうでないもの、それぞれの判断基準などがもしあれば、教えていただきたい。また、学校での対応についても併せて教えていただきたい。

飲み込んだものが判明しているか、不明であるかで対応が変わるかと思えます。判明している場合には、当院や中毒110番へご相談いただく。不明な場合には、原則受診していただき、医師の診察を受けていただくことをお勧めします。



学校医 (内科)  
浅井先生



養護教諭 長野

学校で誤飲・誤食があった場合は、原則学校医へ連絡し、対応への助言を求めます。そのうえで、保護者の方にもご連絡し、助言いただいた内容を共有しながらお子さんの状況もお伝えし、最終的な対応を決めています。(過去に中毒110番を活用したこともあります)

【質問2】 医療機関へ受診する際、子どもが暴れてしまうと診察してもらえなかったり、再受診を断られてしまったりすることがあり、困っています。よい方法があれば、教えていただきたい。

私のクリニックでは、事前に連絡をいただければ様々な配慮(診療時間に余裕をもつために時間を調整する、スタッフの配置を工夫するなど)が可能です。必要に応じて、ご相談いただければと思います。



学校医 (眼科)  
高坂先生



養護教諭 長野

保健室から提供できる情報[愛知県歯科医師会認定協力医(障害をもつ方の診療に関する研修を受けた歯科医師)に関する情報などを含む]も少なからずあるので、お困りの際には一度保健室までご相談いただければと思います。

### 【その他 学校医からの助言】

健康診断の前に行われているプレパレーション(検診・検査前に行う心の準備や環境整備)のかいもあり、上手に検診を受けられる児童生徒がびっくりするほど多く、学校医としては大変助かっています。歯科に限らず、治療は子ども達にとって慣れた場所や人のもとで行うことが望ましく、そのためにもできる限り早めに、かかりつけ医を見つけることが望ましいと考えます。



学校医 (歯科)  
中川先生